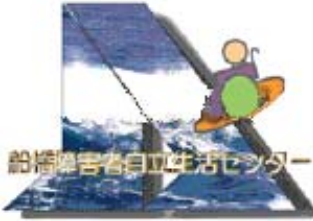


SSKP 船橋障害者自立生活センターニュース

2001年12月29日発行 第40号



編集：特定非営利活動法人
船橋障害者自立生活センター事務局
〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F
郵便振替「00140-9-609088」
TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565
URL：http://www.cil-funabashi.org/
E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org



新年あけまして おめでとうございます

代表 杉井 和男

月日が経つのは早いもので、21世紀も2年目に入りました。内外ともに本当にいろいろな事が起こった1年でしたが、去年はわたしたちのセンターにとってもひとつの転換点といえる年だったと思います。

年度のはじめから全身性障害者介護人派遣事業の委託を受け、6月から実際の派遣を開始しています。また、長い間の念願だった新しい事務所への移転も実現し、さらに8月には特定非営利活動法人(NPO)としての認証を受けることができました。そして、なによりも忘れてならないのが事務局スタッフが大幅に入れ替わり活動の幅が広がってきていることだと思えます。

今年は、センターが正式な総会を開き規約を採択してきちんとしたかたちで発足してから10年目の区切りの年を迎えます。折から、次の年(2003年)からは、従来の福祉制度の考え方を大幅に変更した支援費支給制度という新しい制度が実施されます。センターとしても、いろいろな意味で準備や対応を実施していく必要があります。

会員や関係者のみなさんの今年1年のご多幸をお祈りすると同時に、当センターに対する益々のご支援とご協力をお願いいたします。



2002年 新年の抱負

副代表 山本 明

私の趣味は、全部「鑑賞」という二文字がつきます。映画、演劇、音楽といった調子です。特に映画は黒沢明の映画は半分以上観ています。また音楽では最近、小椋桂のコンサートをライブで聞くことがあり、チャンス!でした。アニメでは「千と千尋の神隠し」を観ました。いい音楽は、いい映画はともに人の心を和ませるものがあります。良質の音楽、映画ともに少なくなってきたことが非常にさびしいことです。

今年の抱負は「鑑賞」の他に、私の本業であるこのセンターを市内在住の障害者に知ってもらうことです。それには、事務所の中にいるばかりではなく、外へ出て私たちの存在を知らせていく事が実は大事なことだと思っています。肝心なことはそれを実行に移すことでしょう。難しいことですがしなければいけないことだと思えます。

事務局長 田沼 敏夫

あけましておめでとうございます。

今年がみなさまにとって幸多き年になりますことを心からお祈り申し上げます。

コーディネーター 黒澤 日出子

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えると共に、私自身も新しいスタートをきる事に成りました。サラブレッドのようなカッコいい走りは当然無理ですが、息を切らせ乍らでも、ズッコケ乍らでも完走したいと、目標に向かって頑張りますので、皆様ご指導、応援、よろしくお願い申し上げます。

コーディネーター 佐野 光宏

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は船橋市でも全身性事業が始まり、事務所も広く新しいところに移転して、まさにセンターにとって転換期であったと思います。今年は昨年以上に忙しくなるとは思いますが精一杯努力いたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

会計 鬼山 功

あけましておめでとうございます。

目標に向けて、決して妥協することなく、しっかりとこの1年を過ごしたいと思えます。

事務局ボランティア 金子 美由紀

あけましておめでとうございます。

無理をせず、マイペースに、息抜きをしながら、過ごしていきたいです。ボランティアのほかにもやりたいことがあり、あちらこちら忙しい日々をいかに楽しくゆとりを持って過ごすか、という努力をしてみたいものであります。今年もよろしくお願いいたします。

女性コーディネーター交代のお知らせ

4月から女性コーディネーターとして、働いていただいた桜井きみ代さんがやむをえない事情により、退職されることになりました。特に女性の利用者のみなさんや介助者のみなさんにはやっとなじみになってきた頃かと思いますが新しいコーディネーターにバトンタッチすることになりました。

後任の女性コーディネーターには、黒澤日出子さんをお願いすることになりました。黒澤さんは、船橋市の社会福祉協議会に登録している視覚障害者のガイドヘルパーとして活躍されてきた方で、また最近では視覚障害に聴覚障害をあわせもつ盲ろう者のガイドなどもなさっていて、触手話もこなすマルチタレントな方です。男性コーディネーターとしておなじみになった佐野光宏さん共々、今後ともよろしくお願ひします。



黒澤日出子さん就任あいさつ

はじめまして、1月からお世話になる黒澤日出子でございます。♪ピカピカの1年生♪と言いたいところですが、私の場合はただのおばさん?スカスカの1年生?と言うところですので、それなりにご想像ください?



センターの10周年記念チャリティコンサートで、私が盲ろう者の仕事をしていたのがご縁で何度か伺う様になり、スタッフの方々の前向きで熱意あるお仕事ぶりに惹かれ、桜井さんの担当だったお仕事をさせて頂くことになりました。

今まで関わったボランティア活動やガイドヘルパー・盲ろう者介助と違い、全身性障害についての勉強はこれからのスタートですがしっかりと向き合っていきたいと心しています。

自立とは、孤立ではありません。沢山の“人”が必要です。障害者も健常者も助け合う力と勇気を出し、自立を支える“人”が溢れる様なセンターにしたいと、夢は大きく膨らみますが…

まだ何にも分からずご迷惑をお掛け致しますが、1日も早くセンターの戦力になり、皆様の自立のお役に立てる様努力致しますので、どうぞご指導ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

BLACK BOX '01

チャリティーコンサートが行われました

当センターの設立10周年記念イベントのひとつである「BLACK BOX '01 チャリティーコンサート IN 船橋」が10月27日に船橋市勤労市民センターのホールで盛大に開かれました。



当日は3部構成のステージとなり、第1部が視覚障害者でヴォーカリストの江藤昌弘さんと盲ろう（視覚と聴覚の両方に障害をもつ）の福島智さんの軽妙な掛け合いを交えたステージとなりました。福島さんは、盲ろうの障害者としてははじめて東京大学の助教授になった方で、自らの体験を交えて盲ろう者や視覚障害の人たちに対する理解を呼びかけていらっしゃいました。福島さんのピアノに合わせて江藤さんが力強いヴォーカルを聞かせて下さり、爆笑と感動のうちに第1部が終わりました。

第2部は、がらっとムードが変わって九条米美さんの三味線と民謡を中心としたプログラムでした。九条さんも盲ろうの障害をもつ方ですが、まったくそれを感じさせない朗々とした歌声が印象的でした。



第3部は、視覚障害をもつ久保智さんのピアノで江藤さんが歌いまくるステージでした。スタンダードな曲が多く、ほとんど満席だった客席と一体となって予定の時間をはるかにオーバーするほど熱のこもったコンサートでした。

今回のコンサートは、千葉県盲ろう者友の会準備会を支援するというのが目的のひとつであり、収益は約37万円にのぼりました。ご来場のみなさんにあらためてお礼を申し上げます。この浄財は、近いうちに同会などに送られる予定です。

はるばる来てくださった出演者のみなさんをはじめ、手話通訳や受付、また会場整理などでお手伝いいただいたみなさんに心からお礼を申し上げます。



Shapo 船橋でスロープの試用会

去る5月に新装オープンしたShapo船橋の「食鮮館」の中で3つの飲食店の入り口に階段が配置されて、車椅子使用者を含む障害者などに入りにくい構造になっていた問題で私たちの要望書に対するひとつの回答というかたちで組立て式のスロープが用意されることになり、10月17日に試用会が行われました。

問題のスロープは、木製の板2枚から4枚を使い分ける形式で車椅子の人などが来店した場合Shapoの倉庫から台車に載せて運んで来て、組立てて使用する仕組みになっています。

今回のスロープ設置騒動は、ひとつの区切りとなりましたが、実際の運用などを巡っていくつかの問題点が明らかになったように思います。ひとつは、わたしたちが飲食店を利用する時にスロープの運び出しから設置までがスムーズに行われるかどうか、各店舗の従業員教育なども絡んで、簡単な問題ではないと思います。それにShapoが混雑しているときに、通路に大きく飛び出す形でスロープが設置されることによるいくつかのトラブルも考えられます。



また、トイレの問題については男子用、女子用ともに改装後取り付けられていた扉が撤去されて入口の数センチの段差に木製のスロープ板が設置されました。しかし、私たちが要望していた車椅子用のトイレは実現していません。Shapo側は、何年後に予定されている千葉寄りの店舗の改装の時には専用のトイレを設置すると約束していますので事態を見守りたいと思います。

そんなわけで、Shapoの飲食店で車椅子の人たちが気軽に食事ができるようになるには越えなければならないハードルがたくさんあると思います。

しかし、スロープが設置されたこと自体は一步前進であり、それを無駄にしないためにも、これからも私たち自身が積極的に利用して当事者としての意見を言えるようなかたちにしていくことが望まれます。



全身性障害者介護人研修会のご報告

去る11月17日(土)に全身性障害者介護人研修会を代表の杉井、副代表の山本の自宅アパートで開催いたしました。

講師は介助派遣コーディネーターの桜井、佐野が担当し、桜井は杉井、佐野は山本の自宅に入りました。なお、着替え介助の実演は同性介助が原則なので介助会員の津久井さんに補助をお願いしました。参加者は6名(男3名、女3名)。研修では参加者を杉井、山本の自宅にそれぞれ3名ずつ分けて電動リフトを使っての車イスの移乗介助と着替え介助を行いました。今回の研修では電動リフトの操作などを参加者1人1人に行ってもらうので参加できる人数が限られました。しかしながら参加者が少人数のため1人ずつゆとりをもって研修が行えました。参加者からも実際に障害者がモデルになる研修会は初めてなので良かったという声をいただきました。反省すべき点として研修会開催の広報が充分でなかったことが挙げられます。次回からは改善したいと思います。(佐野)

.....

ピアカウンセリング長期講座のご報告

8月30日から11月22日まで計14回の講座を行いました。以下がそのテーマです。

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 第1回 | ピアカウンセリングとは
ピアカウンセリングと自立生活センター |
| 第2回 | 人間の本質・感情の開放 |
| 第3回 | 障害について |
| 第4回 | パターンとコントラディクト |
| 第5回 | サポートを得ること・あげること |
| 第6回 | カウンセラーであること・アプリシエーション |
| 第7回 | 自立生活プログラム |
| 第8回 | 私たちの権利 |
| 第9回 | 外からうける抑圧について |
| 第10回 | 自己主張トレーニング |
| 第11回 | 抑圧について①年齢について |
| 第12回 | 抑圧について②性について |
| 第13回 | 力について |
| 第14回 | リーダーシップについて |

全員が休まず講座に来たというのは講座をやって以来初めてで、参加者全員の熱意が見られたと思う。これからの千葉が楽しみな感じがする。このサポートがこれからの課題になると思う。

(石栗)

ビラまき、ポスター貼りの協力のお願い

介助者募集のためのポスター、ビラ撒きを当センターでは近く行う事にしております。当センターではご存知のように「介助者派遣」ならびに昨年からの市の委託として始めました「全身性障害者介護人派遣事業」を履行しておりますが、介助者、又は介護人の登録人数が少なく、利用者の数が今以上に多くなっていけば障害者への生活をささえていくことが困難になっていきます。

については介助者の数を早急に増やさなければなりません。そのためにいま介助者募集のポスター、ビラを作成中ですが、ポスター貼り、およびビラ撒き等に会員のかたがたのご協力を頂きたく、ご多忙中とは思いますが、是非よろしくお願い申し上げます。

なお、さらに詳しく知りたいという方は、当センターまでお電話ください。もし、会員のみなさんのご協力を得られれば、これからの二つの派遣にも弾みが出る事でしょう。

※ 会員の中で障害を持っている方の協力頂ければ幸いです。

得ダネ情報!!

私たちが自立を考えるときに介助などと並んで大きなハードルとなるのが住宅を確保するという問題だと思えます。先頃、習志野市谷津にこの3月にバリアフリー仕様の賃貸住宅が完成予定との情報を得ました。自立生活をはじめたい方、今の住宅に不満を抱え引越を考えている方などいらっしやいましたらセンターまでご連絡ください。



事務局の動き

10月

- 1 ミーティング
- 2 パソコン教室
- 3 全身性プロジェクト
- 4 ピアカウンセリング
- 5 連合レセプション
- 9 パソコン教室
- 11 ピアカウンセリング
- 12 事務局会議
- 15 ミーティング
- 16 パソコン教室
- 17 Shapo スローブ試用会
- 18 ピアカウンセリング
- 19 連絡調整会議
- 22 ミーティング
- 23 パソコン教室
- 25 ピアカウンセリング
- 26 事務局会議
- 27 Black Box コンサート
- 29 ミーティング
- 30 パソコン教室
- 31 DPI 日本会議
15周年記念シンポジウム

11月

- 1 ピアカウンセリング
- 2 連絡調整会議
- 5 ミーティング
- 6 パソコン教室
- 8 ピアカウンセリング
- 9 事務局会議
- 10 2次障害全国ネットワーク
- 12 ミーティング
- 13 パソコン教室
- 15 ピアカウンセリング
- 16 連絡調整会議
船橋中央病院訪問
- 17 介護人研修会
- 19 ミーティング
- 20 パソコン教室
- 21 船橋医療センター訪問
- 22 順天堂大学浦安病院訪問
- 26 ミーティング
- 27 パソコン教室
- 28 バリアフリー委員会
厚生労働省訪問
- 30 事務局会議

12月

- 3 ミーティング
- 3 船橋中央病院訪問
- 4 パソコン教室
- 4 バリアフリー委員会 まち歩き
- 6 バリアフリー委員会 まち歩き

- 7 連絡調整会議
- 8 JD 総会
- 10 ミーティング
- 11 パソコン教室
- 12 ローゼンヴィラ壺番館訪問
- 13 全身性プロジェクト
- 14 事務局会議
- 17 ミーティング
- 17~21 障害者ケアマネジメント研修
- 18 忘年会
- 20 介助講習会
- バリアフリー委員会 まち歩き
- 25 パソコン教室
- 28 仕事納め

会員の皆様へ

今年度も残すところ3ヶ月となりましたが、会費未納の方がいらっ
しゃいます。納入をお願いいたします。なお、自分の会費が支払われ
ているかどうかの確認をとりたい方はお気軽にセンターまでお問合せ
ください。

また、平成12年度の会費の納入がまだ済んでいない方もいらっ
しゃいます。速やかに納入してください。よろしく申し上げます。

何らかのご都合で退会をご希望の方は、できるだけ早めにお知らせ
ください。

カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。
厚くお礼申し上げます。(順不同)

- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 豊島ひろみ様 | 桜井きみ代様 | 前田満子様 | 武田和久様 |
| 中山洋子様 | 田尾幸三様 | 仙波恒雄様 | 澤田頼子様 |
| 高木恒雄様 | 吉峯啓晴様 | 小栗よね子様 | 松井様 |
| 石栗緋沙子様 | 小川里様 | 岩瀬まさ子様 | 船橋市長様 |
| 阿部正勝様 | 勝美はる様 | (株)シンプル様 | 大橋和夫様 |
| 杉田美幸様 | 清水光明様 | 瀬能義辰様 | 金子泰子様 |

編集後記

あけましておめでとうございます。

ことはワールドカップ開催の年であり、船橋障害者自立生活
センターにとって設立10年を迎える年です。いままでに蓄積し
てきた経験をフルに活用し、障害者の明日の生活をより豊かなも
のにしていきたいと考えております。そのためには、あらゆる面
においてさまざまな活動が必要になってきます。なかでも、まず
しなければならないもののひとつに「全身性障害者介護人派遣事
業」、「市町村障害者生活支援事業」の委託事業の
拡大があるのではないかと考えています。多くの
方たちのご協力、ご支援を今までもましてお願
いいたします。(Y.A)



同封の郵便振替用紙は会費、介助料、カンパなどを
送金していただく際にご利用ください。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者定期刊行物協会
頒価 100円